

南京師範大学の学生が1年間の留学生生活を終えて帰国しました。それぞれに留学の感想を書いていただきました

交換留学のレポート

ショウ・イソウ



時間の経つのは早い。福岡県立大学で交換留学をしているこの一年間でいろいろ勉強した。去年の10月クラスメートたちと三人で日本に来た。初めて日本に来るので緊張して興奮していた。きたばかりのうちに親切なもてなしを受けた。支援班の先生たちはとても親切で、いろいろ助けてくれた。最初私たちの日本語があんまり上手ではないので、会話もよくできなかった。生活においても学習においても支援班の先生たちのおかげで問題なく過ごした。

日本に来る前日本語を勉強したが、なかなか話すことができない。日本に来て授業をとってだんだん話せるようになった。先生の授業はとても面白かった。授業で多くの日常会話を学んだ。前問題があった文法も授業でもっと理解できた。日本語のレベルもさらに向上した。授業で韓国の留学生とも交流することができるので韓国についても多くのことを知っていた。日本語の授業のほか、いろんな授業もとった。日本の歴史や経済や政治についてももっと知っていた。学習能力も大幅に向上した。

日本での学習生活は楽しかった。日常生活もすごく楽しかった。共に歩む会の市民たちたちから日常生活のサポートを受けた。野菜をもらったり、おいしいレストランを教えてもらったり、私たちの生活は多彩になった。これだけではなくて、いろいろな交流活動も行われた。これらの活動の中から市民の友好を感じた。私たちもさらに日本文化の魅力を感じた。特に田川の祭りのときいい思い出を作った。私はこれらに対してとても感謝している。学校でもいろいろな支援活動が行われた。城下町、魚樂園、太宰府とかを見学した。日本の古い建物に特別な美しさがある。歴史の跡を残した古代の建物は今までも人気がある。各国からの観光客を魅了する。私たちはここでの毎日を充実して過ごしていた。

この一年にたくさんの友達を作った。最初に来たとき私のチューターをはじめとして、新しい友達と出会った。これらの友達と一緒にいる自体も一種の勉強になる。みんな様々な言葉を使って異なる背景を持っていて、事に対して異なる態度と方法を取る。でも皆さんはお互いに理解し合っていて助けて合う。これも交換留学の意味の一つだろう。語学勉強のほか様々な国から様々な文化、背景を持っている人達と交流するし様々な価値観や考え方をすることもできる。



留学感想

鄧 士鈺



月日の経つのは早い、一年間の留学生生活は終わってしまいました。振り返ってみると、この一年間は私の人生にとって、かけがえのない貴重な一年間でした。生活にしても、勉強にしても、非常に充実して過ごしました。

日本に到着し、日本の土を踏みしめ、日本の空気を呼吸している私は、学校の宿舎行きの車に乗っている間中、興奮の中にも少し緊張でした。なぜなら、これは私にとって初めての異国の生活体験だからでした。「今後の1年の間に、どのような学校で勉強するのか、どのような環境に住むのか、

そこの先生たちはどんな人たちなのか、それに日本人の生活様式と飲食習慣に慣れることができるのか」などのたくさんの疑問は私を不安な気持ちにさせました。ラッキーだったのは接待していただいた支援班草場班長さんがとても親切です。空港まで迎えに来ていただいた班長さんの笑顔は素敵でした。これは私の心の底にある不安感を少し和げてくれました。その後の1年を通じて私の第一印象は正しいと分かりました。河野さんと伊藤先生、西岡先生、岡本先生も皆親切でまじめです。私たちの1年の留学の間に色々細かいところまで助けていただきました。

最初の頃は大変だった。見知らぬ環境の中で生活するのは確かに大変なことだ。バスや電車の乗り方、日常用品の使い方、ごみ処理のやり方、すべて分からなりません。学校が始まってから皆忙しかった。私も少しずつ日本での生活に慣れてきました。新しい学習環境は留学生の私たちにとっては新鮮で面白いと思っています。その授業の中で、私が一番難しいと感じたのは日本近代史と文学です。理解するのに時間がかかりました。日本語上級や会話及び日本語表現論などは留学生向けの授業だから、人数が少ないです。授業の雰囲気は楽しいです。

いろいろな活動にもたくさん参加しました。一番印象深かったのは大学祭です。私たちも手伝って、餃子とラーメンを作りました。餃子を作るのは私には苦手だったが、頑張りの気持ちを込めて中国式の水餃子を作りました。私たちと共に歩む会の植木さん、古部さん、重藤さんたち皆の努力の下で、店は大成功でした。

1年の留学生生活は充実していたけど、とても忙しいです。でも、本当に勉強になったと思います。最後に、この1年間にいろいろお世話になった日本の先生たち、共に歩む会のメンバーたち、留学生たち、そして日本での友達たちに感謝します。別のところではなくて、田川に来て、福岡県立大学に来て、みんなに会って、よかったです。やはり日本へ来て自分の目でその国を見ていろいろと体験できたことは本当によかったと思います。本当にありがとうございました！縁があれば、お逢いしましょう！



留学感想

盧品璇



歓迎会から送別会まで、一年間の留学生生活が終わってしまいました。この一年間、本当にお世話になりました。ありがとうございます！

7歳から「日本へ留学」は私の夢です。これも私が日本語学科を選んだ理由です。日本に着いたばかりの時、福岡空港内の「到着」看板を見て、「Dream come true」と思いました。初めて草場班長さんと会った時、本当に緊張しました。その日、いろんなことを言いたいけど、日本語で話すことができません。でも、班長さんの優しさは感動しました。

この一年間は幸せな一年間です。みんなと一緒に日本語を勉強し、友達になりました。印象が最も深いことは去年12月、鄧さんと吉林大学の張嘉慧さん、陳雨曼さん、何婉婷さんと一緒に松元さん鹿兒島の家に行きました。その三日はとても楽しかったです。去年私の誕生日、みんなはケーキを買って、私がアルバイトの店に行きました。このサプライズも絶対忘れないです。

福岡県立大学の先生たちもすごく親切です。支援班の先生たちと授業の先生たちと岡田さん、